

平成31年 3 月 6 日

平成31年第 1 回神奈川県議会定例会

東京オリンピック・パラリンピック・  
ラグビーワールドカップ特別委員会資料

スポーツ局



目

次

ページ

- 1 ラグビーワールドカップ2019<sup>™</sup>に向けた主な取組みについて…………… 1
- 2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた主な取組みについて… 8

## 1 ラグビーワールドカップ2019™に向けた主な取組みについて

### (1) 経過

共同開催都市である県と横浜市は、ラグビーワールドカップ2019™組織委員会（以下「組織委員会」という。）と会場整備や開催準備に係る協議、調整及びラグビーワールドカップ2019™の周知や普及などの機運醸成を実施している。

### (2) 大会準備に係る取組み

#### ア 組織

共同開催都市である横浜市に、県職員7名、組織委員会に2名を派遣している。また、平成30年4月に組織委員会地域支部（LOC）が横浜市内に設置され、県職員1名を派遣し、大会開催の準備を進めている。

#### イ 会場整備

大会会場である横浜国際総合競技場について、ワールドカップの実施に向けた整備を行っている。

##### (ア) 平成29年度から30年度にかけての取組み

照明設備のLED化や、トイレの改修、ハイブリッド芝への張替えなどを実施。

##### (イ) 今後の予定

記者席やコーチボックス、ゲストラウンジなど仮設施設の設置。

#### ウ ファンゾーンの設置

大会期間中に試合会場とは別に設けられるラグビーのイベントスペースである「ファンゾーン」の設置に向け、次のとおり計画し、準備を進めている。

##### (ア) 開催日

平成31年9月20日（開幕戦）から11月2日（決勝戦）までの期間中、週末の15日間（横浜での試合日、日本代表戦開催日など）

##### (イ) 開催時間

正午から22時までを基本とする。

##### (ウ) 想定来場者数

15日間で15万人（前回大会実績より）

(エ) 会場

臨港パーク（横浜市西区みなとみらい1-1-1）

(オ) 実施内容（予定）

日本代表戦等のパブリックビューイング、飲食コーナー、ラグビーアクティビティ、ステージイベント、地元PRブース等

(カ) みなとみらいラグビースタジアムでの検証

日本代表戦が行われた平成30年11月3日（土）に、ファンゾーン会場となる臨港パークで、パブリックビューイング、飲食コーナー、ラグビーアクティビティ、ステージイベント等から成る「みなとみらいラグビースタジアム」を実施した。

当日は、ボランティアの運用や、荒天時の対応、屋外での映像受信状況などの確認を行い、結果についてはファンゾーン運営計画へ反映させる。

エ 交通輸送計画等の策定

交通輸送計画、警備計画など、ラグビーワールドカップ開催に必要とされる各種計画について、関係機関と調整しながら策定を進めている。

オ ブレディスローカップにおける検証結果

ラグビーワールドカップ2019™の1年前に当たる平成30年10月に、ワールドカップ会場でもある日産スタジアムにおいて、世界的大会であるブレディスローカップ（※）が開催された（入場者数 46,143人）。

この大会をワールドカップ本番を見据えた検証の場と位置づけ、主催の日本ラグビーフットボール協会の協力のもと、組織委員会及び横浜市と連携し、会場運営、交通輸送等のシミュレーションを実施した。

※ ブレディスローカップ：

ニュージーランドとオーストラリア両国間で80年以上続く伝統ある試合。日本でされるのは2009年以来、2回目。

(ア) 県・横浜市による検証実施内容

a ボランティアによる案内誘導の実施

最寄駅である新横浜駅、小机駅、北新横浜駅から競技場までの歩行者動線上に、外国語が堪能な90名のボランティアを配置し、競技場や当日イベント会場への案内誘導を行った。

b 案内デスクの設置

新横浜駅及び小机駅に案内デスクを設置し、体制の適否やデス

クにおける観客ニーズの確認を行った。

c 外国人への輸送ニーズ調査

競技場内外で外国人観客を対象としたアンケートを実施し、184件の回答を得た。

(イ) 検証結果と計画の見直し

a ボランティアによる案内誘導

観客の往来や問合せの少なかった箇所や、混雑が想定される駅や競技場周辺の配置場所の見直しを行う。

b 案内デスクの設置

利用客が多く、周辺情報に関する問合せも多く寄せられたことから、人員の拡充や研修の充実等を図る。

c 外国人への輸送ニーズ調査

回答のうち8割以上が案内誘導や案内サインを有効とする一方で、英語による案内不足を指摘する声もあったことから、ボランティア配置と口頭での英語案内を充実する。

(3) ラグビーワールドカップ2019™チケット販売

平成30年1月19日から順次実施された先行抽選販売は、同年11月12日に終了し、平成31年1月19日から3月31日まで一般先着販売が開始されている。また、今後リセールサービスの開始が予定されている（5月中旬以降）。

(4) 大会公式ボランティアについて

観客誘導や案内などを行う大会公式ボランティアは、募集、採用が完了し、今後研修等を実施していく予定である。

募集期間：平成30年4月23日～7月18日

募集人数：12開催都市で合計約10,000人

応募総数：約38,000人

採用人数：約13,000人（全体） 神奈川・横浜は約1,500人

今後の予定：平成31年3月以降 研修

6月頃 活動内容等決定

業務内容：各開催都市で主に次の活動を行う予定。

区分	活動内容
会場内観客サービス	スタジアム内において、観戦客の方々を案内し、楽しませる役割を担う。
街なか &ファンゾーンガイド	開催都市の街なかや空港、駅、ファンゾーン、スタジアム周辺などにおいて、観戦客の方々を案内し、楽しませる役割を担う。
輸送サポート	スタジアム周辺の関係者駐車場の案内などを行う。
VIP対応	ゲストの受付・案内やおもてなしを行う。
メディアサポート	国内外のメディア・放送局の活動をサポートする。
会場運営サポート	スタジアム内の運営本部にて、担当スタッフの活動をサポートする。
スタッフサポート	スタジアム周辺に設置されるスタッフの休憩所等において、当日受付や休憩所の運営をサポートする。

#### (5) 公認チームキャンプ地等の決定

ラグビーワールドカップ2019™の大会期間中にチームが滞在する公認チームキャンプ地については、平成30年4月20日に内定し、今後、組織委員会より正式決定が公表される予定である。

##### ア 公認チームキャンプ地の状況

本大会期間中にチームが滞在する公認チームキャンプ地の内定状況は、次のとおりである。

なお、公認チームキャンプ地の選定は、全て組織委員会が実施する。また、チームは、大会期間中、公認チームキャンプ地以外のキャンプ地に滞在することは認められていない。

##### <県内の内定状況>

横浜市：アイルランド、スコットランド

海老名市：ロシア

##### イ 事前キャンプ地の状況

本大会期間前にチームが滞在する事前チームキャンプ地の決定状況は、次のとおりである。

なお、事前キャンプは、各チームの判断で実施することとされており、事前チームキャンプ地の決定には、組織委員会は関与しないため、各自治体がチームと直接交渉している。

< 県内の決定状況 >

小田原市：オーストラリア（※）

※ キャンプ実施期間の一部が公認チームキャンプ実施期間と重なるため、  
現在、組織委員会と調整中である。

(6) 平成30年度の機運醸成の取組み

ア 横浜市との共同事業

横浜市と連携し、大会1年前イベント等を実施し、大会の機運醸成に取り組んでいる。

< 平成30年度予定と実績 >

主な事業	実施日	開催場所
大会500日前イベント	5月6日(日) (約2,800人)	横浜ランドマークプラザ
パブリック ビューイング	6月9日(土) (約1,000人)	横浜八景島 (日本代表戦)
	6月23日(土) (約1,230人)	イオンシネマ 港北ニュータウン (日本代表戦)
	7月7日(土) (約200人)	かながわNEWSハーバー (スーパーラグビー)
	31年2月16日(土) (約150人)	かながわNEWSハーバー (スーパーラグビー)
小学校への ラグビー出前授業	6月20日(水) から計18回実施 予定	横浜市内小学校 (18校予定)
親子ラグビー教室	7月8日(日)から 計5回実施予定	新横浜公園しんよこ フットボールパーク
大会1年前カウント ダウンボード除幕式	9月20日(木) (約300人)	横浜ランドマークプラザ
日新豪少年少女 ラグビー交流フェス ティバル2018	10月26日(金) ～29日(月) (約400人)	日産小机フィールド他
みなとみらいラグビー スタジアム2018	11月3日(土) (約5,000人)	臨港パーク
開幕200日前イベント 女性のための ラグビー講座	31年3月4日(月)	アートフォーラムあざみ野



イ 全県での取組み及び横浜市以外の市町村や企業等と連携した取組み

県内全域において大会の成功に向けた機運醸成を図るため、市町村と連携し、県内キャラバンイベントやパブリックビューイング等普及啓発イベントを実施している。また、企業・大学等とも連携し、ラグビー体験イベント等を行っている。

<平成30年度予定と実績>

主な事業	実施日	開催場所
ラグビーフェスタ in川崎	5月13日(日) (約15,000人)	ラゾーナ川崎 (市町村との共同事業 :川崎市)
パブリック ビューイング	6月16日(土) (約300人)	ららぽーと海老名 (日本代表戦)
	10月26日(金) (約800人)	ラゾーナ川崎 (日本代表戦)
東海大学ラグビー部 「丹沢祭」	7月8日(日) (約2,000人)	東海大学湘南キャンパス ラグビー場 (大学との連携:東海大学)
秋の ラグビーバスツアー	9月15日(土) (58人)	東京ガス大森グラウンド (企業との連携:東京ガス)
トップリーグ 観戦バスツアー	9月22日(土) (79人)	ニッパツ三ツ沢球技場
オールブラックス ラグビースクール in 神奈川	10月20日(土) (328人)	慶応大学下田グラウンド (企業との共同事業 :AIG損保)
ラグビーフェス in FUJISAWA	10月21日(日) (約600人)	テラスモール湘南 (市町村との共同事業 :藤沢市)
ラグビーパーク in 横須賀	31年1月26日(土) (約700人)	横須賀中央駅西口モアーズ前 広場 (市町村との共同事業 :横須賀市)
開幕200日前イベント in海老名	31年3月3日(日)	海老名駅駅間(えきかん) 芝生スペース (市町村との共同事業 :海老名市)
開幕200日前イベント in相模原	31年3月10日(日)	相模大野駅南北自由通路 アトリウム広場 (市町村との共同事業 :相模原市)

(7) 平成31年度の機運醸成の取組み予定

ア 横浜市との共同事業

横浜市と連携し、シティドレッシングや様々な広報媒体を活用して大会のPRを行うとともに、大会100日前などの節目に合わせて各種イベント等を実施し、大会に向けた機運醸成に取り組む。

イ 全県での取組み及び横浜市以外の市町村や企業等と連携した取組み  
全県的に大会を周知するため、各市町村と連携し、日本代表戦のパブリックビューイング等普及啓発イベントを実施するほか、企業・大学等とも連携し、ラグビー体験イベント等を行い、県域全体での機運醸成を図る。

**参考**：横浜国際総合競技場での開催試合

**【決勝戦、準決勝2試合、プール戦4試合】**

No.	日程	キックオフ	試合
1	9月21日(土)	18:45	ニュージーランド 対 南アフリカ
2	9月22日(日)	16:45	アイルランド 対 スコットランド
3	10月12日(土)	17:15	イングランド 対 フランス
4	10月13日(日)	19:45	日本 対 スコットランド
5	10月26日(土)	17:00	準決勝1
6	10月27日(日)	18:00	準決勝2
7	11月2日(土)	18:00	決勝

## 2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた主な取組みについて

### (1) 概要

神奈川県内における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の開催競技は、江の島でのセーリング、横浜国際総合競技場でのサッカー、横浜スタジアムでの野球・ソフトボール及び相模原市、山北町の一部をコースに含む自転車競技ロードレースの4競技となっている。

現在、セーリングについては、江の島開催に向けた準備を円滑に進めるため、県では、平成29年5月31日に合意された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の役割（経費）分担に関する基本的な方向について」、いわゆる大枠合意に基づき、必要な恒久施設の整備を進めるとともに、湘南港利用者や漁業関係者、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）との調整を行っている。

また、大会をオール神奈川で盛り上げるため、セーリングをはじめとする県内4競技を中心に東京2020大会の機運醸成、普及啓発や事前キャンプの誘致も進めている。

### (2) 県内開催競技

#### ア セーリング競技

##### (ア) 日程

時期	大会名	日程
平成30年	セーリングワールドカップ シリーズ江の島大会2018(※1)	9月9日(日)～16日(日) (計測日：9月9日～10日)
平成31年	READY STEADY TOKYO ーセーリング(※2)	8月17日(土)～22日(木) (事前計測日：8月15日～16日)
	セーリングワールドカップ シリーズ江の島大会2019	8月25日(日)～9月1日(日) (計測日：8月25日～26日(予定))
平成32年	セーリングワールドカップ シリーズ江の島大会2020	調整中
	東京2020大会	7月26日(日)～8月5日(水)

※1 オリンピックのテストイベントを兼ねる

※2 組織委員会主催のテストイベント

(イ) 現在の調整状況

a 既存艇の移動

(a) 平成30年（ワールドカップ）

「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018」を支援するため、空きバースや、江の島かもめ駐車場を活用し、江の島島内で移動を行った。また、大会中も利用者が艇の出入を可能にするとともに、移動期間は前後の他大会を含め1か月から1か月半程度とした。

(b) 平成31年（「READY STEADY TOKYOーセーリング」及び「ワールドカップ」）

組織委員会主催のテストイベントである「READY STEADY TOKYOーセーリング」及び「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」の開催を支援するため、湘南港に保管されている既存艇の一部を江の島島内の江の島かもめ駐車場等に移動する。

(c) 平成32年（ワールドカップ及び東京2020大会）

a' 概要

東京2020大会・セーリング競技の開催を支援するため、湘南港に保管されている全ての既存艇を江の島島外に移動する。

b' 移動先について

次のハーバー等を移動先として予定している。

なお、他のハーバー等への移動も検討、調整を続けている。

ディンギー	・葉山港（葉山町） ・逗葉フリートハウス（逗子市） ・若洲ヨット訓練所（東京都江東区） ・稲毛ヨットハーバー（千葉県千葉市）など
クルーザー（係留）	・逗子マリーナ（逗子市） ・葉山マリーナ（葉山町） ・みうら・宮川フィッシャリーナ（三浦市） ・シティマリーナヴェラシス（横須賀市） ・横浜ベイサイドマリーナ（横浜市）など
クルーザー（陸置）	・葉山マリーナ（葉山町） ・湘南サニーサイドマリーナ（横須賀市） ・油壺ヨットハーバー（三浦市） ・油壺京急マリーナ（三浦市） ・シティマリーナヴェラシス（横須賀市） ・サニーサイドマリーナウラガ（横須賀市）など

(d) 湘南港利用者等への説明

a' 湘南港利用者説明会

平成31年1月19日（土）及び20日（日）に江の島ヨットハウスで第4回湘南港利用者説明会を開催し、延べ341人が参加した。

この説明会では、平成31年及び平成32年の大会における既存艇の移動先や移動期間の案などについて、県及び組織委員会から説明した。

b' 相談窓口の設置

既存艇の移動等に関する湘南港利用者の意見や相談に対応するため、原則として週末の土曜日又は日曜日に、湘南港ヨットハウス内に相談窓口を設置している。

c' メールマガジンの配信等

艇の移動に関することや、セーリング競技開催に向けた取組、国内外のセーリング競技の動向等を情報提供するため、1か月に1回程度メールマガジンの配信を行っている。

また、江の島ヨットハウスの掲示板にメールマガジンなどの情報を掲示している。

(e) 艇の移動に要する経費

平成31年に開催される「READY STEADY TOKYOーセーリング」及び「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」や東京2020大会の艇の移動に関する経費として、輸送運搬費や保険費用、東京2020大会に係る移動先の保管料等について、平成31年度当初予算案で提案している。

「READY STEADY TOKYOーセーリング」及び東京2020大会に係る既存艇の移動経費は、大枠合意により組織委員会が負担するものであることから、組織委員会に対して求めていく。

b レースエリア

平成31年に開催される「READY STEADY TOKYOーセーリング」及び「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」のレースエリアや運営方法等について、平成30年に開催された「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018」の結果を踏まえ、組織委員会やセーリングワールドカップシリーズ江の島大会実行委員会と連携して漁業関係者と協議を行っており、

東京2020大会のレースエリアは、これらの大会の結果を踏まえて決定される予定である。

c 輸送・交通対策

(a) 東京圏を中心とした取組み

平日の交通量を減らす交通需要マネジメント（TDM）の取組の輪を広げるため、東京都、国、組織委員会の三者が2020TDM推進プロジェクトを発足し、企業に対して説明会や個別相談会を行っている。

また、九都県市首脳会議の取組として、円滑な大会輸送の実現と住民生活や経済活動の維持との両立に向け、首都圏の経済団体等に対して、時差出勤やテレワーク、荷物の配送時間やルートの変更などTDMの取組を推進するよう働きかけを行った。

(b) 江の島会場に関する取組み

平成30年12月20日に第6回江の島セーリング競技推進連絡会議を開催し、組織委員会から大会時の輸送や交通対策に関する概要を、県から東京2020大会に向けた準備状況等をそれぞれ説明し、意見交換を行った。

今後、観光客が増加する休日を中心に、江の島への自動車の乗り入れを極力減らし、公共交通機関の利用を促進するため、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会等の開催に向けて、江の島に自動車で来る観光客に対して公共交通機関の利用を促進する呼びかけを試行する。そして、その効果検証を行い、東京2020大会・セーリング競技開催に向けて具体的な方策を検討していく。

d その他

平成31年2月4日に、東京2020大会・セーリング競技の成功に向けて、艇の移動などの面で連携を強化し、協力して取組みを進めるため、葉山港の指定管理者である株式会社リビエラリゾート及び湘南港の指定管理者である株式会社湘南なぎさパークと協定を締結した。

(ウ) 恒久施設等の整備（県土整備局で実施）

東京2020大会・セーリング競技の円滑な運営や大会後もセーリングの発展等に資する恒久施設として、艇整備庫等を備えたセーリングセンター（仮称）の建築工事とともに、休日を中心とした渋滞の解消を図るため、江の島大橋の三車線化工事等を実施している。

また、セーリング競技の開催に相応しい会場を準備するため、係留施設やトイレの洋式化等の改修、高木植栽等を行う。

<主な整備内容>

名 称	事業概要	供用予定
セーリングセンター（仮称）の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄骨造 3 階建</li> <li>延床面積約 1,000 m<sup>2</sup></li> <li>・ 施設内に「艇整備庫」、「海面監視室」等を設置</li> </ul>	平成 31 年 8 月 予定 READY STEADY TOKYO ーセーリングまで
江の島大橋の 3 車線化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋りょうの拡幅・補強</li> <li>・ 臨港道路の拡幅</li> </ul>	

(エ) セーリングの普及啓発に向けた取組み

a セーリングワールドカップシリーズ江の島大会への支援

世界を転戦しながら 1 年間に 4 回開かれる国際大会であるセーリングワールドカップシリーズが、江の島において、東京2020大会までの間に 3 回開催される。

県では、東京2020大会に向けてセーリング競技の盛り上げに弾みをつけるとともに、同競技の普及拡大及び地域振興等を図るため、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会の開催経費の一部を負担している。

<「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」の実施概要（予定）>

日程	平成 31 年 8 月 25 日（日）～9 月 1 日（日）
主催	ワールドセーリング 公益財団法人日本セーリング連盟
参加国数	約 50 カ国（予定）
参加人数	約 600 人（予定）
競技種目	オリンピック種目 10 種目（予定）

※ 参考 「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018」の実績

日程	平成30年9月9日(日)～16日(日)
参加国数	44の国と地域
参加人数	465人
来場者数	約20,000人
競技種目	オリンピック種目10種目
イベント (実施日)	①ウェルカムフェスティバル(9月8日(土)) ②開会式(9月9日(日)) ③ワールドカップフェスティバル (9月15日(土)、16日(日))

b セーリング体験会の実施

江の島ヨットハーバー等において、小・中・高校生、障がいのある方及び親子向けの海上体験会を、また、地域住民が多く集まる市民祭り等において、陸上体験会を実施した。

さらに、藤沢市のテラスモール湘南で開催した、東京2020大会2年前イベントにおいても陸上体験会を実施した。

平成31年度は、さらに対象を広げて、海上体験会を実施する。

※ 参考 平成30年度の実績

種 類	実施日(参加人数)	開催場所
海上体験会	7月28日(土)(荒天により中止) 7月29日(日)(荒天により中止) 8月10日(金)(34人) 8月11日(土・祝)(39人)	八景島マリーナ
	7月15日(日)(45人) 8月4日(土)(42人) 8月9日(木)(荒天により中止) 9月29日(土)(24人※) ※雨天によるキャンセルあり 10月28日(日)(44人)	江の島ヨットハーバー
	9月24日(月・祝)(32人)	横浜ベイサイドマリーナ
・小・中・高校生 ・障がいのある方 ・親子		



種 類	実施日 (参加人数)	開催場所
陸上体験会	① 6月9日(土) (1,298人)	①よこすかYYのりもの フェスタ 2018 ②2018年えびな市民まつり ③寒川びっちょり祭 ④テラスモール湘南 (東京2020大会2年前 イベントにおいて実施) ⑤川崎競馬秋祭り2018 ⑥美・緑なかいフェス ティバル2018
	② 7月22日(日) (1,065人)	
	③ 7月28日(土) (荒天により中止)	
	④ 8月25日(土) (イベント全体で9,500人)	
	⑤ 9月29日(土) (164人※) ※雨天により途中終了	
	⑥ 10月14日(日) (852人)	

c その他の機運醸成の取組

平成31年度は、県内の小学生を対象に、セーリング選手が競技の魅力を伝えたり、ヨットが走る仕組みを模型を使って実験するワークショップ等を盛り込んだ訪問教室を実施する。

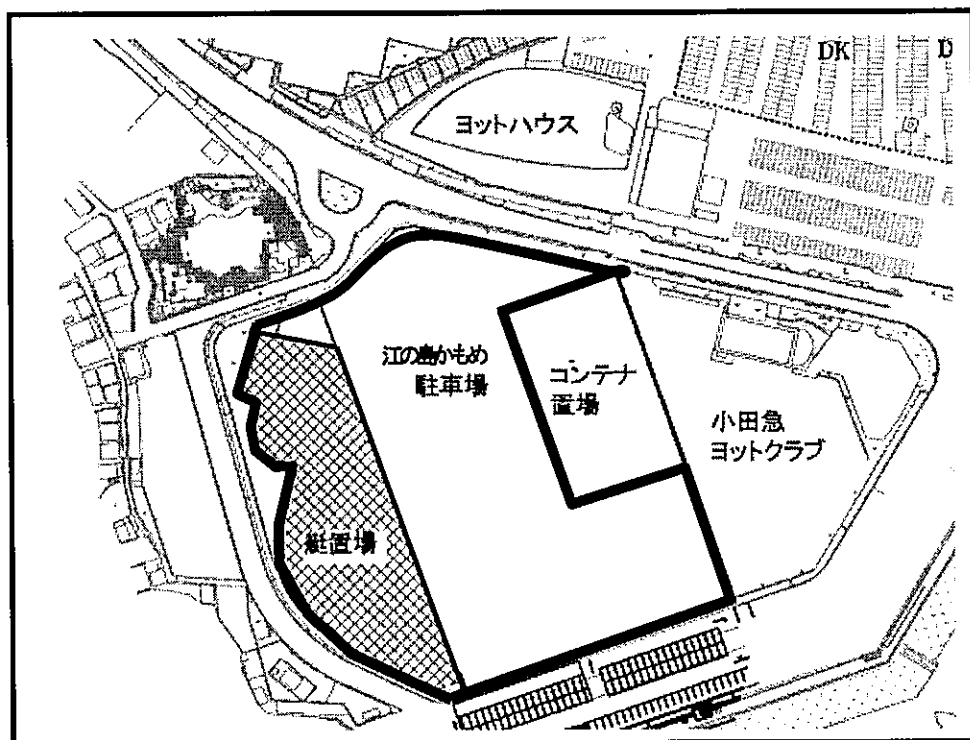
また、江の島沖で開催されるレースをセーリング選手の解説付きで海上から観戦し、競技の魅力や迫力を体感してもらう機会を提供する。

(オ) 台風24号による湘南港のディンギーへの被害について

a セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018における既存艇の移動状況

平成30年9月9日から16日に開催されたセーリングワールドカップシリーズ江の島大会2018の大会参加艇の置き場を確保するため、湘南港ヨットハーバー内のディンギーヨット182艇を下図のとおり、江の島かもめ駐車場（女性センター跡地）に移動した。

大会終了後、移動したディンギーは順次、湘南港へ戻っており、9月30日時点で、78艇が江の島かもめ駐車場に置かれていた。



b 台風24号による被害状況

10月1日未明、台風24号の強風により、江の島かもめ駐車場に置かれていたディンギーヨット35艇について、固定されていた艇が動いたり、ロープの緩みや破断に伴う、転倒や損傷等の影響が生じた。

また、湘南港ヨットハーバー内のディンギーヨットについても、48艇に影響が生じた。

c 本県の対応

台風による影響で学生のセーリング活動に支障が生じていることを踏まえ、江の島かもめ駐車場で被害を受けた大学等の活動を支援するため、一部損壊から全損まで、艇の被害の状況に応じてセーリング活動支援金を支出することとした。

<支援の概要>

学校数	被災艇数	総額	1艇当たりの支援額
13校	27艇	1,207万円	3万円～148万円

※ 額については、今後、精査により変動する可能性がある。

イ その他の競技

セーリングを除く3競技（サッカー、野球・ソフトボール及び自転車競技ロードレース）の開催概要と準備状況は以下のとおり。

(ア) サッカー

a 開催概要

横浜国際総合競技場を含む全国7会場で開催される。横浜国際総合競技場では、男子は7月23日から決勝が行われる8月8日までの8試合が、女子は7月28日から準決勝が行われる8月3日までの3試合が行われる。

b 準備状況

ラグビーワールドカップ2019™、東京2020大会の両大会に向けて、照明設備やエレベーターの更新、フィールド芝の張替えが行われるとともに、観客席やトイレの改修など、安全・機能向上に向けた整備が進められている。

(イ) 野球・ソフトボール

a 開催概要

予選の一部が福島あづま球場で行われるほかは、全て横浜スタジアムにおいて実施され、野球は7月30日から決勝が行われる8月8日までの15試合が、ソフトボールは7月22日から決勝が行われる7月28日までの11試合が行われる予定である。

b 準備状況

横浜スタジアムでは、東京2020大会も見据えて、観客席の増席やエレベーターの設置等改修が進められている。

(ウ) 自転車競技ロードレース

a 開催概要

コースは、東京都の武蔵野の森公園からスタートし、静岡県  
富士スピードウェイをゴールとし、総距離は、男子約 244 km  
(うち相模原市 28.4 km、山北町 1.6 km)、女子約 147 km (同相  
模原市 28.4 km) となっている。男子は7月25日、女子は7月  
26日に行われる。

b 準備状況

本年7月に予定されているテストイベントである「READY  
STEADY TOKYO-自転車競技(ロード)」に向け、コース沿道周辺で  
競技運営をサポートするコースサポーターを相模原市が募集し  
ており、県も広報面などで連携して取り組んでいる。(コース  
サポーターについてはP21参照)

そのほか、ゴールである富士スピードウェイへの観客の輸送  
ルートなどの検討を組織委員会と連携して取り組んでいる。

(3) 東京2020大会の盛り上げ

県内4競技やパラリンピックへの関心・注目度を上げるためのイベン  
トを開催するほか、県民の大会への参加意識を高めるため、組織委員  
会の展開する「応援プログラム」への登録を促す。また、聖火リレー  
の準備や、会場外で大会を楽しめる「ライブサイト」の運営計画作成  
に取り組むほか、大会を盛り上げるための街の飾り付け(ドレッシング  
グ)を行う。

ア 機運醸成事業

(ア) 東京2020大会500日前イベント

東京2020大会開催まで500日前となる節目に、オリンピック・  
パラリンピックを盛り上げるため、「東京五輪音頭-2020-」を東京  
2020マスコットの“ミライトワ、ソメイティ”と一緒に踊るイベン  
トを実施する。

実施日：平成31年3月16日(土)

会 場：秩父宮記念体育館(藤沢市)

(イ) 東京2020大会 1年前イベント

県内開催4競技やパラリンピックへの関心を高めるため、1年前イベントを開催する。平成31年度は、特に、パラリンピックに対する県民の注目度を一気に高めるため、その醍醐味や臨場感を実感できるイベントを開催する。

a オリンピック 1年前イベント

実施時期：平成31年8月（予定）

会 場：テラスモール湘南（藤沢市）（予定）

b パラリンピック 1年前イベント

実施時期：平成31年8月（予定）

会 場：桜木町駅前イベントスペース（横浜市）（予定）

（参考）東京2020大会 2年前イベント

実 施 日：平成30年8月25日（土）

会 場：テラスモール湘南（藤沢市）

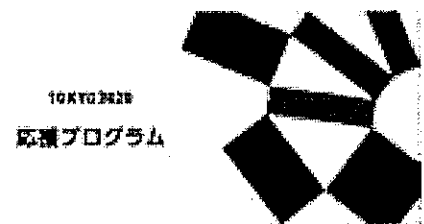
来場者数：9,500人

(ウ) 応援プログラム参加促進に向けた取組み

美化活動やあいさつ運動など、様々なおもてなし活動を登録した県民の皆様に活動の証としての記念グッズを配付することなどで「応援プログラム※」への参加を促し、大会への参加意識を高めて、オリンピック・パラリンピックをみんなで盛り上げていく取組みを実施する。

※ 応援プログラムとは

オリンピック・パラリンピックに多くの人々の参画を可能にする組織委員会のプログラム。様々な組織・団体のアクションを組織委員会が認証・マーク付与し、オリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら活動していただく仕組み。



(エ) その他の取組み

・ 神奈川県市町村スポーツ施策推進事業費補助

ラグビーワールドカップ2019™と東京2020大会が連続して開催されることを契機に、平成30年度からの3か年をスポーツに関する施策の集中実施期間とし、その期間に両大会の機運醸成等に資する事業を実施する市町村（政令市を除く）に対して補助する。

平成30年度交付実績：12市町

イ 聖火リレー

(ア) オリンピック聖火リレー

「Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。」をコンセプトに、全国で114日間（移動日7日を含めると121日間）、本県では平成32年6月29日から7月1日までの3日間実施される。

現在、東京2020オリンピック聖火リレー神奈川県実行委員会と組織委員会との間で県内ルート案等について調整を進めている。

(イ) パラリンピック聖火リレー

「Share Your Light/あなたは、きっと、誰かの光だ。」をコンセプトに、開催都市東京都とパラリンピック競技開催県(埼玉県、千葉県、静岡県)においてトーチで火をつなぐリレーを実施することとなっている。本県他42道府県については、採火などを通じた参画を組織委員会が検討している。

ウ ライブサイト

会場外で、誰もが競技観戦を楽しみ、大会の感動と興奮を共有できる「ライブサイト」の設置に向けて、会場の選定や運営計画の作成に取り組んでいる。

エ シティドレッシング

東京2020大会・セーリング競技を盛り上げるため、選手村分村である大磯プリンスホテルから競技会場である江の島までのルートを、フラッグ等の掲出によりドレッシング（装飾）するほか、江の島周辺に大会のレガシーとなるモニュメントを設置する。

また、県内の祝祭感を高めるため、県庁舎などをドレッシングするほか、江ノ島電鉄株式会社の鉄道車両ラッピング等を実施する。

## オ ボランティア

### (ア) 東京2020大会におけるボランティア

#### a 概要

東京2020大会におけるボランティアは、組織委員会が募集し、競技会場、選手村などで観客サービス、競技運営サポート、メディアサポートなどの大会運営に直接携わる大会ボランティアと、競技会場が所在する自治体が募集し、主要駅・観光地などで競技会場までの道案内や観光案内等を行う都市ボランティアがある。

平成31年1月28日、組織委員会から、大会ボランティアのネーミングを「フィールドキャスト」、都市ボランティアを「シティキャスト」とすることが発表された。

#### <フィールドキャスト及び県内のシティキャストの概要>

区分	フィールドキャスト	シティキャスト	
募集主体	組織委員会	横浜市	藤沢市
応募期間	平成30年9月26日 ～12月21日	平成30年9月12日 ～12月12日	(1次募集) 平成30年9月26日 ～12月7日 (2次募集) 平成31年4月10日 ～7月5日
募集人数	80,000人	2,500人	(1次募集) 100人 (2次募集) 約800人
最終応募人数	204,680人	5,834人	(1次募集) 565人

#### b 県の取組み

県は、東京2020大会でボランティアとしての活動を希望する方々が、大会成功の担い手として活躍できるよう、組織委員会や競技会場のある横浜市、藤沢市と連携し、以下のイベントを実施した。

##### (a) 東京2020大会に向けてふじさわボランティアフォーラム

県民の皆様に様々な形で大会に関わっていただけるよう、選手やボランティア経験者の方等に体験談等を語っていただくイベントを実施した。

実施日：平成30年9月2日（日）

会場：藤沢市民会館（藤沢市）

来場者数：413人

(b) 横浜市・都市ボランティアPRイベント

ボランティア参加への関心を高めるため、横浜市・都市ボランティア登録も兼ねた募集開始のPRイベントを実施した。

実施日：平成30年9月15日（土）

会場：クイーンズサークル（横浜市）

来場者数：約800人

(イ) 自転車競技ロードレースのコースサポーター

自転車競技ロードレースでは、コース沿道周辺で競技運営をサポートするボランティアとして「コースサポーター」をコース通過自治体が募集する。県内では、本年7月21日実施予定のテストイベント「READY STEADY TOKYO-自転車競技(ロード)」に向けて相模原市が募集しており、県も広報面などで連携して取り組んでいる。

募集人数：約700名

応募期間：平成31年1月15日～3月29日

(4) 事前キャンプ誘致の取組み

ア 県内における事前キャンプ誘致の状況

神奈川県内では、本年2月末時点で、県及び8市3町6団体が、12カ国（15件）と事前キャンプに関する協定等を締結している。

今後も、東京2020大会の各国・地域の事前キャンプを県内に誘致するため、オール神奈川での誘致活動を引き続き実施するとともに、視察等の受入れを行う。

イ 県内における「ホストタウン」の登録状況

神奈川県内では、本年2月末時点で、県及び8市3町が、16カ国の「ホストタウン」として登録されている。



【参考】

＜県内開催競技日程＞

競技名 月 日	セーリング	サッカー (◎は横浜国際総合競技場)		野球・ソフトボール (◎は横浜スタジアム)		自転車競技 ロードレース
		男子※1	女子※2	野球※3	ソフト※4	
7月22日(水)			○		(◎)	
7月23日(木)		◎			(◎)	
7月24日(金)	開会式					
7月25日(土)			○		(◎)	男子
7月26日(日)	◎	◎			(◎)	女子
7月27日(月)	◎				(◎)	
7月28日(火)	◎		◎		◎ 決勝	
7月29日(水)	◎	◎		○		
7月30日(木)	◎			◎		
7月31日(金)	◎		◎ 準々決勝	◎		
8月1日(土)	◎ 決勝	◎ 準々決勝	(うち1試合)	◎		
8月2日(日)	◎ 決勝	(うち1試合)		◎		
8月3日(月)	◎ 決勝	◎	◎ 準決勝	◎		
8月4日(火)	◎ 決勝	○ (準決勝)	(うち1試合)	◎		
8月5日(水)	◎ 決勝			◎		
8月6日(木)			○	◎		
8月7日(金)			○			
8月8日(土)		◎ 決勝	○ (決勝)	◎ 決勝		
8月9日(日)	閉会式					

※1 サッカー男子の準々決勝の他3試合は宮城スタジアム、茨城カシマスタジアム、埼玉スタジアム2002、準決勝2試合は茨城カシマスタジアムと埼玉スタジアム2002で行われる。

※2 サッカー女子の準々決勝の他3試合は宮城スタジアム、茨城カシマスタジアム、埼玉スタジアム2002、準決勝の他1試合は茨城カシマスタジアム、決勝はオリンピックスタジアムで行われる。

※3 野球の決勝以外のセッションスケジュール(競技日程)は現在調整中。

※4 ソフトボールの決勝以外のセッションスケジュール(競技日程)は現在調整中で、横浜スタジアムの使用日程についても今後変更になる可能性がある。

<県内開催競技テストイベントの日程>

内容 競技名	イベント名	日程	会場
セーリング	READY STEADY TOKYO -セーリング	平成 31 年 8 月 17 日(土) ~22 日(木)	江の島ヨットハーバー
サッカー	調整中	調整中	調整中
野球・ ソフトボール	第 52 回日本女子ソフトボール 1 部第 8 節福島大会	平成 31 年 10 月 5 日(土) ~6 日(日)	福島あづま球場
自転車競技 ロードレース	READY STEADY TOKYO -自転車競技(ロード)	平成 31 年 7 月 21 日(日)	スタート:武蔵野の森公園 ゴール:富士スピードウェイ

<競技・会場・日程毎のチケット価格>

競技	会場	試合の種類	座席種類及びチケット価格 (単位:円)			
			A	B	C	D
セーリング (男女)	江の島 ヨットハーバー	予選	3,000	-	-	-
		決勝	5,500	-	-	-
野球	横浜スタジアム	予選(1試合分)	15,500	12,000	8,000	4,000
		決勝トーナメント(1試合分)	23,000	18,000	12,000	6,000
		準決勝(1試合分)	31,000	24,000	16,000	8,000
		3位決定戦	45,000	36,000	20,000	9,000
		決勝	67,500	54,000	30,000	10,000
ソフトボール		予選(1試合分)	8,000	7,000	5,000	2,500
		予選(2試合分)	12,500	10,000	7,000	3,500
		3位決定戦	18,000	14,500	8,000	4,000
		決勝	25,500	20,000	12,800	7,500

競技	会場	試合の種類	座席種類及びチケット価格 (単位：円)			
			A	B	C	D
サッカー (男子)	横浜国際総合競技場	予選(2試合分)	9,800	6,500	5,500	3,000
		準々決勝(1試合分)	21,000	12,800	7,500	5,800
		決勝	67,500	30,000	15,000	9,800
サッカー (女子)		予選(1試合分)	6,500	4,500	3,500	2,500
		準々決勝(1試合分)	15,500	8,000	6,000	4,000
		準決勝(1試合分)	21,000	12,800	7,500	5,800
自転車競技 ロードレース (男女)	富士スピードウェイ	決勝	5,500	3,500	-	-

<事前キャンプ誘致の状況>

区分	協定等締結年月	団体名	相手国
1	平成27年9月	県、小田原市、箱根町、 大磯町、星槎グループ	エリトリア国
2	平成28年2月	横浜市、川崎市、 慶應義塾大学	英国(オリンピック)
3	平成28年10月	県、平塚市	リトアニア共和国 (オリンピック)
4	平成29年4月	県、小田原市、箱根町、 大磯町、星槎グループ	ブータン王国
5	平成29年6月	相模原市	ブラジル連邦共和国
6	平成29年7月	葉山町、大同生命保険(株)	英国(セーリング)
7	平成29年10月	小田原市	モルディブ共和国

区分	協定等締結年月	団体名	相手国
8	平成30年1月	県、相模原市、 (公社)日本ボート協会	カナダ(ボート)
9	平成30年4月	鎌倉市	フランス共和国(セーリング)
10	平成30年4月	県、小田原市、箱根町、 大磯町、星槎グループ	ミャンマー連邦共和国
11	平成30年5月	横浜市、川崎市、慶應義塾大学	英国(パラリンピック)
12	平成30年5月	県、平塚市	リトアニア共和国 (パラリンピック)
13	平成30年8月	小田原市、 ヒルトン小田原リゾート&スパ	オーストラリア連邦 (7人制ラグビー)
14	平成30年9月	逗子市、(株)リビエラ	スペイン王国(セーリング)
15	平成31年2月	厚木市	ニュージーランド (バスケットボール)

※本年2月末時点で、全国で2番目の件数(オリンピック・パラリンピック課調べ)

#### <ホストタウンの登録状況>

区分	登録年月	登録団体名	相手国	
1	平成28年1月	県、小田原市、箱根町、 大磯町	エリトリア国	
			ブータン王国	
			ミャンマー連邦共和国	
2		横浜市		英国
				チュニジア共和国・イスラエル国
				ベナン共和国・ボツワナ共和国
				コートジボワール共和国
3	川崎市	英国		
4	平塚市、県	リトアニア共和国		
5	厚木市	ニュージーランド		
6	平成29年7月	小田原市	モルディブ共和国	
7		葉山町	英国	

区分	登録年月	登録団体名	相手国
8	平成29年12月	相模原市	ブラジル連邦共和国
			カナダ
9	平成30年12月	鎌倉市	フランス共和国
10	平成31年2月	逗子市	スペイン

